

パブリックコメントの結果について

【意見募集の概要】

案件名	下水道事業経営戦略の見直しについて
募集期間	令和2年1月14日(火)～2月14日(金) (32日間)
担当部・課	水道部下水道課

【集計結果】

意見提出人数	4人
意見数	8件

【意見の検討結果】

項目	
① 修正します	意見に基づき、原案を修正するもの
② 意見として承ります	原案は修正しないが、今後の取組の参考とするもの
③ 原案のとおりとします	検討した結果、修正しないもの
④ その他	原案に関する意見でないもの(感想や質問)に回答するもの

【意見及び検討結果等の一覧】

No.	項目	意見	検討結果及びその理由	
1	個別浄化槽への転換について	個別浄化槽への転換について検討すると有るが、今後の管路の老朽化に伴う更新や地震対策等を考えると、積極的に個別浄化槽もしくは市町村設置型浄化槽にする計画を同時にすすめ、経済的、地理的な事情を踏まえて比較検討するべきである。 (同意見ほかに3件あり)	③原案のとおりとします	今後の需要の変化により、集合処理の維持が難しくなる区域においては、合併浄化槽への転換等が有効な手段になると認識しています。経済的、地理的な条件等を考慮しながら、最適な処理方式を比較検討していきます。
2	避難所への浄化槽設置と集合処理から個人浄化槽への切替について	施設を統廃合することで、管路が長くなり、地震等により破損した場合の影響が増大する。そのため、避難場所については、浄化槽の設置を強く要望する。また、希望する住民についても、集合処理から個別浄化槽への切り替えを認めるよう希望する。 (同意見ほかに3件あり)	②意見として承ります	今回の経営戦略の見直しは、中長期的な基本計画を策定し、水環境の保全、災害に強い施設づくり及び経営基盤の強化に取り組むことにより、将来にわたり下水道事業を安定的に継続することを目的としています。当面は、現行の集合処理方式の継続が合理的であると判断しており、現時点で避難所への浄化槽設置や集合処理区域内における浄化槽への切り替えは考えていませんが、No.1のご意見も踏まえ、今後の施策の参考とさせていただきます。 なお、統合のための処理区を接続する管路は、最新の耐震指針を用いて布設することで、地震による被害を最小限にとどめることとしています。